

CASIO<sup>®</sup>  
3171\*JA

取扱説明書

3171

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。

なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

## 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。

※本機はダイバースウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



## 電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

## 注意

### お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてください。特に、海水に浸した後放置しておくとしサビ易くなります。

### かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
  - ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
  - ③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

## 分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

## ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

## 操作のしくみと表示の見方

◎ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

**時刻モード**

★曜日の見方  
SU:日 MO:月 TU:火 WE:水 TH:木 FR:金 SA:土

★12/24時間制切替について  
時刻モードのとき、◎ボタンを押すごとに12時間制表示(午前/午後P)と24時間制表示(24)とが切り替わります。

**アラームモード**

任意の時刻にアラームを鳴らすことや、毎正時(00分)に時報を鳴らすことができます。

◎

**ストップウォッチモード**

1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測できます。

◎

**デュアルタイムモード**

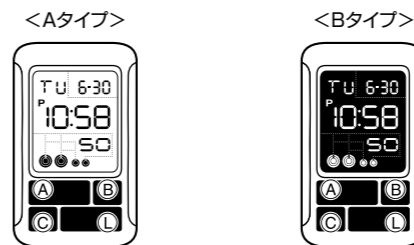
現在時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできます。

◎

## 液晶表示について

製品によって、液晶表示のタイプが異なります。なお、本書に記載しているイラストは、視認性を考慮して「白地に黒」で描写しております。ご使用になる製品によっては、本書に記載しているイラストの黒い部分(「時刻」、「機能」がONになっているときに点灯するインジケータやマーク)が、「白または他の色で表示される」と置き換えてご覧ください。

※液晶表示のタイプは製品によって決まっているため、1つの製品でタイプを切り替えることはできません。



## 時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は、時刻モードで行ないます。

電池交換などで時刻・カレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットしてください。

### 1. セット状態にする

時刻モードのとき、A ボタンを約2秒間押し続けます

→「秒」が点滅します。

### 2. 秒合わせをする

時報に合わせてB ボタンを押します

→「00秒」からスタートします。

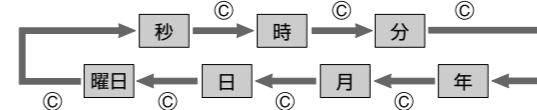
※00～29秒のときは切り捨てられ、30～59秒のときは1分繰り上がって「00秒」になります(時報は「時報サービス117番」が便利です)。

### 3. 時刻・カレンダーを合わせる

#### a. セット箇所を選ぶ

◎ ボタンを押します

→◎ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



#### b. 点滅箇所をセットする

◎ ボタンを押します

→◎ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。

※押し続けると早送りします。

◎ボタンでセットしたい箇所を選び、◎ボタンでセットする操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」のセットのとき午前/午後(P)、または24時間制(24)にご注意ください。  
※「曜日」は◎ボタンを押すごとに切り替わりますので、忘れずに設定してください。  
※「年」は2000～2099年の範囲内でセットできます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

### 4. セットを終了する

A ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

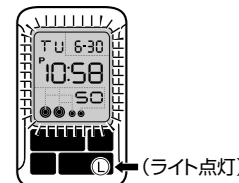
※点滅表示のまま1～2分すると、自動的に点滅が止まります。

## ライト点灯について

どのモードでも、L ボタンを押すとライトが点灯します。

→暗いところでも表示を見ることができます。

※ライトの点灯時間は1.5秒間と3秒間のいずれかを選ぶことができます(下記「●ライト点灯時間の切り替え」参照)。



### ●ご注意

- 直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中にL ボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。
- ライト点灯中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

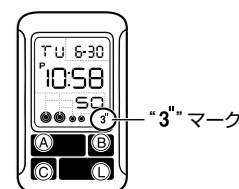
### ●ライト点灯時間の切り替え

時刻モードのとき、◎ボタンを約2秒間押し続けることに確認音が鳴り、点灯時間の設定(1.5秒間/3秒間)が切り替わります。

※点灯時間が3秒間のときは、「3」マークが点灯します。

※点灯時間の設定を切り替えるときに、12時間制表示と24時間制表示も切り替わりますのでご注意ください。

※点灯時間を3秒間に切り替えてから約7時間経過すると、「3」マークが消え、自動的に点灯時間が1.5秒間に戻ります(点灯時間のオートリターン機能)。



<点灯時間3秒>

## 安全上のご注意

絵表示について 本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

### 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

### 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

### 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています。(左の例は感電注意)



○記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています。(左の例は分解禁止)



●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

## アラーム・時報の使い方

◎ ボタンを押して、アラームモードにします。

アラームモードでは、時分を設定でき、設定した時刻になると10秒間電子音が鳴ります。また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

### ■ アラーム時刻のセット

#### 1. セット状態にする

アラームモードのとき、**A** ボタンを約2秒間押し続けます

→「時」が点滅します。
※ アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。

#### 2. セット箇所を選ぶ

**C** ボタンを押します

→ **C** ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



#### 3. 点滅箇所をセットする

**B** ボタンを押します

→ **B** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。
※ 押し続けると早送りします。

**C** ボタンでセットしたい箇所を選び、**B** ボタンでセットする操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます。

※ 「時」のセットのとき午前／午後（P）、または24時間制（24）にご注意ください。
※ 基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

## デュアルタイムの使い方

◎ ボタンを押して、デュアルタイムモードにします。

デュアルタイムとは、現在時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできる機能です。

※ デュアルタイムの「秒」は基本時刻の「秒」と連動しています。
※ 基本時刻を24時間制にしているときは、デュアルタイムも自動的に24時間制で表示されます。

### ■ デュアルタイムのセット

#### 1. セット状態にする

デュアルタイムモードのとき、**A** ボタンを約2秒間押し続けます

→「時」が点滅します。

#### 2. セット箇所を選ぶ

**C** ボタンを押します

→ **C** ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。

#### 3. 点滅箇所をセットする

**B** ボタンを押します

→ **B** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。
※ 押し続けると早送りします。

**C** ボタンでセットしたい箇所を選び、**B** ボタンでセットする操作を繰り返して、デュアルタイムを合わせます。

※ 「時」のセットのとき午前／午後（P）、または24時間制（24）にご注意ください。

#### 4. セットを終了する

**A** ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま1～2分すると、自動的に点滅が止まります。

#### 4. セットを終了する

**A** ボタンを押します

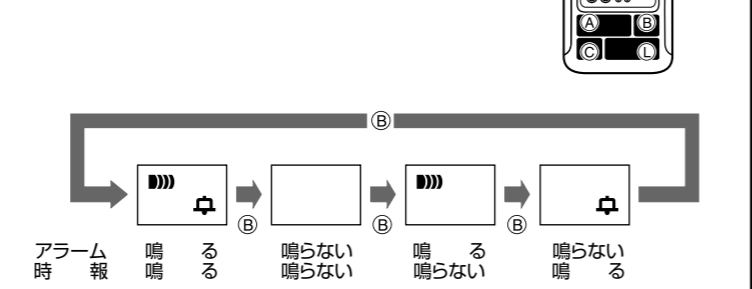
→点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま1～2分すると、自動的に点滅が止まります。

### ■ アラーム・時報のON／OFF設定

アラームモードのとき、**B** ボタンを押します

→ **B** ボタンを押すごとにアラームマークと時報マークが点灯／消灯を繰り返します。

※ それぞれのマークが点灯しているときにONとなり、アラーム・時報が鳴ります。



### ■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

### ■ モニターアラーム

アラームモードのとき、**B** ボタンを押し続けると、押し続けている間アラーム音が鳴ります。

### 製品仕様

精	度：	平均月差±20秒以内
表 示 方 式：	FE型液晶デジタル表示	
基 本 機 能：	時刻表示＝ 時・分・秒 午前／午後(P)／24時間制(24)表示 カレンダー表示＝ 月・日・曜日	

ア ラ ー ム 機 能：時刻アラーム  
セツト単位＝時・分  
電子音＝ 10 秒間  
時報 毎正時に2回電子音で報知

ストップウォッチ機能：計測単位＝ 1/100 秒  
計測範囲＝ 23 時間 59 分 59 秒 99（24 時間計）  
計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測

デュアルタイム機能：表示内容＝時・分・秒  
セツト単位＝時・分

そ の 他：自動復帰機能、12/24時間制表示切替、EL（エレクトロルミネッセンス）バックライト、ライト点灯時間切替（点灯時間のオートリターン機能付き）、モニターアラーム

主 要 回 路 素 子：音叉型高性能水晶振動子 ワンチップCMOS-LSI

使 用 電 池：CR1216 1個（電池別途販売）

電 池 寿 命：約3年  
（1日あたりライトを1.5秒間、電子音を10秒間使用した場合）

## ご使用上の注意

防 水 性 ●防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用 防水	日常生活用強化防水 5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
表 示	時計の表面または裏蓋に表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使 用 例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキューバダイビング(素潜り)	×	×	○	○

※ 専門的な潜水＝スキューバダイビング（空気ボンベ使用） でのご使用はお避けください。
● 時計の表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないものは防水構造になっておりませんので、多量の汗を発生する場合、もしくは湿気が多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
● 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうずやボタンの操作をしないでください。
● 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等（石鹸・シャンプーなど）のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。
● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
● 防水性を保つために定期的（2～3年を目安）なバックシン交換をおすすめします。
● 電池交換の際、防水試験を行ないますので、必ずお買い上げ店あるいは最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。
● 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態でも、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
● 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかつたり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。
● 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。
● バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
● バンドは劣化やさび（錆）などにより切れたり外れたりする場合があります。時計の落下や粉沙の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理（有償）または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にバンド交換（有償）をお申し付けください。
● 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
● +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなる場合があります。
● 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶついたりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンノードなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。
磁 気 ●通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

静 電 気 ●静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
●静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。
● シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。
保 管 ●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。
樹 脂 製 品 に つ い て ●長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておく、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
●長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせる場合があります。
●塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりします。
●バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
●蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくや色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
●スクルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
●樹脂部品の交換は、最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にお申し付けください。有償にて申し受けます。

天然皮革・合成皮革バンドについて ●長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておく、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
●長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせる場合があります。
ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

金 属 製 品 に つ い て ●金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも濡れたままご使用になります。さび（錆）が発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
●バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかからないようご注意ください。

抗 菌 防 臭 バ ン ド に つ い て ●抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは吸湿性や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

液 晶 表 示 に つ い て ●液晶表示は、見る角度によって表示が見えにくくなる場合があります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

## お手入れについて

#### ■お手入れのしかた

●ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくやさび易くなります。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。

●皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。

●バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

#### ■お手入れを怠ると

くさび（錆）

●時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
※ 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
●表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

く劣化）

●樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の高い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

くかぶれ）

●皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

## 電池交換について

●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にお申し付けください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
●電池交換の際、防水検査を行ないます（防水検査は別途有償となります）。

#### ■最初の電池

●お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点で時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。

●お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

#### ■電池の消耗

●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。